



ハチドリのひとつく

— いま、私にできること —

森が燃えていました

森の生き物たちはわれ先にと逃げていきました

でもクリキンティという名のハチドリだけは

いったりきたり

くちばしで水のしずくを

一滴ずつ運んでは火の上に落としていきます

動物たちはそれを見て

「そんなことをしていったい何になるんだ」と言って笑います

クリキンティはこう答えました

「私は、私にできることをしているだけ」

この物語は、南アメリカの先住民に伝わるお話です。

監修 辻 信一

発行者 古谷 俊勝

発行所 (株) 光文社